

コミュニティバス本格運行の方向性

(1) 実証運行に係る課題の改善

○利用者意識調査及び住民アンケート結果を踏まえた、今後のバス運行の見直し内容と、必要な取り組み内容は概ね次のとおりである。

見直し対象項目	見直しに必要な取り組み内容
便数の増加、運行時間帯の延長	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズの具体的な内容の把握 ・利用者アンケートの実施 ・経費増加と財政負担のバランスの検討
電車等との乗継の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・最優先課題として推進する
バス停の施設改善	各停留所ごとの改善箇所と内容の把握

(2) 利用者実態調査の継続

○住民ニーズを的確に把握するため、実証運行期間中に実施したバス利用者を対象にした実態調査を、今後も継続して行う。また、公共交通に関する住民アンケートについても、実施時期、内容等を検討する。

(3) 評価目標値の見直し

○バス事業評価は、バス運行に対する改善・向上策等についての基礎データとし、本格運行移行後においても継続して行い、バスルートや便数、ダイヤ等の改善に向けた取り組みを行う。

○現行のバス事業評価目標値は、実証運行期間中に策定したものであることから、実証運行期間中にいただいた意見や要望などをできる限り反映した目標値に上方修正することとします。ただし、収支率は実績等を踏まえた目標値に見直すこととします。

(4) 評価結果を踏まえた見直しの考え方

○平成28、29年度のバス事業評価結果を踏まえ、今後のバス運行事業の見直しにあたっての考え方を次のとおりとする。

新たな利用者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを利用した地域探検や各種イベントとのタイアップなど利用促進策を検討する ・免許返納者への対応策を検討する ・バス利用推進に向けた応援組織を立ち上げる
収支率の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況を踏まえた運行経費の検討 ・利用者増となる改善策への財源の組み替え
満足度・利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・電車とバスの乗り継ぎ改善、ダイヤ改正を図る ・バス停留所の新設、設備改善内容などニーズを把握する